

## 次期開催県挨拶



**安藤 明範 氏**

山梨県総務部次長

皆さま、こんにちは。ただいまご紹介いただきました、山梨県の安藤と申します。次期開催県を代表いたしまして一言ご挨拶を申し上げます。皆さま大変お疲れのところかと思いますが、もう少しだけお時間をいただきたいと思っております。

本日はここ富山県におきまして、「全国過疎問題シンポジウム2023 in とやま」がこのように多くの参加者のもと盛大に開催されましたことをお慶び申し上げますとともに、この素晴らしいシンポジウムに参加させていただいたことに感謝申し上げます。

先程、基調講演をいただきました宮口先生、そしてパネルディスカッションからは、示唆に富む大変意義深いお話を伺うことができました。

開催に当たりご尽力をいただきました総務省の皆さま、富山県の皆さま、関係者の皆さま、そして本日も登壇いただいた先生方に心から感謝を申し上げたいと思っております。

来年のシンポジウムは、私ども山梨県でお引き受けをさせていただきますが、今年のこの富山県の大会のように、素晴らしいものとなるよう準備を進めて参りたいと思っております。

ここで少し山梨県のご紹介をさせていただきます。山梨県は日本列島のほぼ中央に位置し、富士山、八ヶ岳、南アルプスなどの山々に囲まれた海のない内陸県でございます。県土の約78%を森林が占め、豊富な水と太陽の恵みが育んださまざまな農作物、ワインやジュエリー、絹織物など優れた県産品が「やまなしブランド」として、国内外で認知されております。

特に、皆様もご承知のとおり、その神秘的な魅力により日本人の心の拠り所として愛される「富士山」は、

平成25年6月に世界文化遺産に登録され、世界的な価値が認められています。

また、山梨県はフルーツ王国やまなしとも呼ばれておりまして、多くの果物が作られており、特に「ぶどう」「もも」「すもも」は日本一の生産量を誇り、シーズンには多くの人々が山梨のフルーツを楽しむために訪れております。そして、現在建設が進められておりますリニア中央新幹線が開業した暁には、東京から約25分でお越しいただけることとなります。

そうした山梨県におきましても、急速なペースで進む少子化により人口が加速度的に減少しており、総人口が約43年ぶりに80万人を下回るなど、まさに危機的な状況になっております。この人口減少という問題に対しまして、本年6月に全国初となる「人口減少危機突破宣言」を行うとともに、7月には、県内市町村・企業・団体の皆さまと「人口減少危機突破共同宣言」を行い、オール山梨の体制構築に向けた基礎的な環境整備を図る中で、将来世代を含めた県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなしの実現に向けまして、取り組みを加速しているところでございます。

来年山梨県で開催いたします全国過疎問題シンポジウムにぜひ多くの皆さまにおいでいただきまして、山梨県の歴史や文化、食なども堪能していただければと思います。

来年はぜひ山梨県へお越しください。お待ちしております。どうもありがとうございました。

